

JOURNAL  
OF  
THE FACULTY OF INTERNATIONAL STUDIES  
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

ISSN 1342-0364

宇都宮大学国際学部  
研究論集

宇  
都  
宮  
大  
学  
国  
際  
学  
部  
研  
究  
論  
集

第  
五  
〇  
号

二  
〇  
二  
〇  
年  
九  
月

No.50

Papers

KURIHARA Shunsuke : Value-Added to a Station as a Gateway:  
Utsunomiya Omotenashi Team's Initiatives and Potential Directions ..... 1

SAKAMOTO Kumiko, Parinya KHEMMARATH, OHMORI Reiko, and Anna C. MARO:  
Health, Livelihoods, and Food Intake in Coastal Southeast Tanzania:  
From Questionnaires Interviews in Kijiweni Village, Lindi Region ..... 11

SASAKI Yuka : The Integration of Aussiedler in Germany: A Study of Linguistic Integration of Russian German ..... 31

TAKAHASHI Wakana, SHIMIZU Nanako and TAKAHASHI Satoka :  
Unheard Voices of the Nuclear Disaster Evacuees Living Outside of Fukushima (1):  
Evidence from Niigata, Yamagata, and Akita Local Government Surveys ..... 43

TAMAKI Matsuo : Situation of Foreign Students after Junior High School Graduation in Tochigi Prefecture:  
A Report of the 10th Survey Result ..... 63

JEONG Gwiryun and KASHIJUKU Eiko : Koreans and Stars, the Korean Dramas:  
As Clue from the Great East Japan Earthquake and "A Sky Full of Stars" ..... 71

NI Yongmao : Utilization of Two Pointer Method in Algorithm Development ..... 93

NI Yongmao : Algorithm Research Series: In-Place Method ..... 101

FUJII Hiroshige : Community-based Implementations and Challenges for SDGs:  
An Analysis of International Norms and Localization through the Case Study of the SDG16 ..... 109

MATSUI Takako : Nasu in Haiku: The Influence of Westernization and Modernization ..... 121

MATSUMURA Fuminori : A "Military Policy" of the Japanese Communist Party and the Sino-Soviet Alliance,  
1949-1955: Dependence and Independence in the Eastern Bloc (4) ..... 135

YUZAWA Nobuo : Conversion of ToBI to the Tonetic Stress Transcription ..... 157

ZAHARUDDIN Azalia : Students' Response to the Direct Teaching Method:  
A Case Study on Malaysian Learners of the Japanese Language ..... 171

MASHIYAMA Takako : Importance of Childcare Facilities and Issues in Foster Parent Entrustment:  
A Survey of Facility Staff ..... 179

Research Note

IZUHA Takashi : Turner's Footsteps in Prague in 1835 ..... 191

MIURA Mieko : A Consideration about the Enrollment Situations of Culturally  
and Linguistically Diverse Children in Special Needs Classes ..... 205

Published by  
THE SCHOOL OF INTERNATIONAL STUDIES  
UTSUNOMIYA UNIVERSITY  
September 2020

第50号

論文

栗原 俊輔 : 街の玄関としての駅の付加価値 -宇都宮おもてなし隊の活動と可能性- ..... 1

阪本 公美子・パリンヤ ケンマラート・大森 玲子・アナ C. マロ :  
Health, Livelihoods, and Food Intake in Coastal Southeast Tanzania:  
From Questionnaires Interviews in Kijiweni Village, Lindi Region ..... 11

佐々木 優香 : ドイツにおけるアウスジードラーの社会統合  
-ロシア・ドイツ人の言語的統合に着目して- ..... 31

高橋 若菜・清水 奈名子・高橋 知花 : 看過された広域避難者の意向 (1)  
-新潟・山形・秋田県自治体調査に実在したエビデンス- ..... 43

田巻 松雄 : 栃木県における外国人生徒の進路状況  
-10回目の調査結果報告- ..... 63

丁 貴連・檜宿 英子 : 韓国人と星、そして韓流ドラマ  
-東日本大震災と「満天の星」を手掛かりとして- ..... 71

倪 永茂 : アルゴリズムの開発における尺取法の活用 ..... 93

倪 永茂 : アルゴリズム研究シリーズ-In-Place 法 ..... 101

藤井 広重 : 持続可能な開発目標 (SDGs) の地域社会における実践と課題  
-SDG16 (平和と公正) をめぐる国際規範と地域性についての試論- ..... 109

松井 貴子 : 俳句に詠まれた那須-日本の近代化と西洋化の反映- ..... 121

松村 史紀 : 強制と自主独立の間  
-日本共産党「軍事方針」をめぐる国際環境 (1949~55) - (4) ..... 135

湯澤 伸夫 : Conversion of ToBI to the Tonetic Stress Transcription ..... 157

ザハルディン アザリア : Students' Response to the Direct Teaching Method:  
A Case Study on Malaysian Learners of the Japanese Language ..... 171

増山 貴子 : 児童養護における施設の重要性和里親委託の課題  
-施設現場職員へのアンケート・インタビュー調査から- ..... 179

研究ノート

出羽 尚 : Turner's Footsteps in Prague in 1835 ..... 191

三浦 美恵子 : 特別支援学級における外国人児童生徒の在籍状況に関する一考察 ..... 205

宇都宮大学国際学部  
2020年9月

## 国際学部研究論集発行要綱

制 定	平成7年6月14日	一部改正	平成14年12月18日	一部改正	平成22年1月27日
一部改正	平成9年6月18日	〃	平成17年6月22日	〃	平成29年4月1日
〃	平成13年3月21日	〃	平成17年11月24日	〃	平成30年3月30日
〃	平成13年6月20日	〃	平成19年7月25日	〃	平成30年11月27日
〃	平成14年4月24日	〃	平成21年4月1日		

第1条 国際学部研究報告委員会内規第2条の規定に基づき、研究報告委員会（以下「委員会」という。）は、この要綱の定めによって研究論集を発行するものとする。

第2条 国際学部研究論集は、毎年2回発行を原則とする。

第3条 研究論集の規格及び発行部数は次のとおりとする。

- 規 格 A4判 横2段組  
縦2段組

ただし、特別の事情により上記以外の組版の希望があるときは、委員会の決するところによる。

- 発行部数 200部

第4条 研究報告原稿の募集については、次のとおりとする。

- 投稿資格

イ 国際学部専任教員

ロ イに定める者との共著者で、委員会の承認を得たもの。

ハ 国立大学法人宇都宮大学客員教授等に関する規程第2条に定める客員教授等で、国際学部・国際学研究科における専攻分野について教授又は研究に従事する者

ニ 他学部専任教員、学内共同教育研究施設専任教員及び国際学部非常勤講師等で、教授会の承認を得たもの。

ホ 国際学研究科博士後期課程の大学院生。但し、指導教員の推薦書を原稿に付することを条件とする。

ヘ その他委員会の承認を得たもの。

- 投稿原稿 論文及び研究ノートとする。

原稿は「宇都宮大学国際学部研究論集執筆要領」に従って執筆するものとする。

- 原稿枚数 研究論文、研究ノートともに、投稿者1人について、刷り上り15ページを限度とする。表題、要約、図表・写真、参考資料・文献、注もこの枚数に含めるものとする。ただし、刷り上がりが1人につき15ページを越えるときには、22ページまでを限度とし、超過分については当該教員研究室経費から、負担する。共著原稿に超過が生じた場合は、原則的に、執筆者全員の教員研究室経費から、人数割分の経費を負担する。

四 応募原稿の受理 応募原稿は随時受理するが、6月1日及び11月1日を当該年度の研究論集原稿の締切日とする。

第5条 委員会は、受理した原稿を審査し、その結果を教授会に報告するものとする。

- 前項の審査をするに当たり、委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の意見を聞くことができるものとする。

第6条 研究論集発行費については次の通りとする。

一 他学部及び学内共同教育研究施設の専任教員の場合には、執筆者が経費を負担する。

二 国際学部非常勤講師等の場合には、掲載論文及び研究ノートの紹介教員が経費を負担する。

三 第4条第一号ハの客員教授等の場合には、原稿枚数刷上がり15ページ、別刷50部を上限とし、学部共通経費で負担する。研究費負担となるページ数・別刷の超過は認めない。

四 国際学部専任教員については、別刷を50部を超えて必要とする場合には、別刷の経費を負担する。

第7条 カラー印刷等特殊な印刷については、委員会の議を経て当該教員研究室経費から、負担する。

第8条 国際学部研究論集の電子化に関わる著作権については、国際学部が有するものとする。

- 1の論文について、他の機関で電子化する場合は、予め学部長の承諾を得るものとする。

第9条 研究論集の発行について、その他の必要な事項は委員会で審議し、教授会の議を経てこれを定める。

附 則

この要綱は、平成7年6月14日から実施する。

附 則

この要綱は、平成9年6月18日から実施する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成13年6月20日から実施する。

附 則

この要綱は、平成14年4月24日から実施する。

附 則

この要綱は、平成14年12月18日から実施する。

附 則

この要綱は、平成17年6月22日から実施する。

附 則

この要綱は、平成17年11月24日から実施する。

附 則

この要綱は、平成19年7月25日から実施する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成22年1月27日から実施する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年3月30日から実施する。

附 則

この要綱は、平成30年11月27日から実施する。

---

宇都宮大学国際学部研究論集（第50号）

2020年9月1日 発行

編集兼 宇都宮大学国際学部  
発行所 〒321-8505 宇都宮市峰町 350

印刷所 (株)アートプレス  
〒329-1104 宇都宮市下岡本町 4555-5

---